

超上流工程における 形式手法及び要求工学手法の適用検討

(株)NTTデータ

猿渡卓也

saruwatarit@nttdata.co.jp

開発における問題点

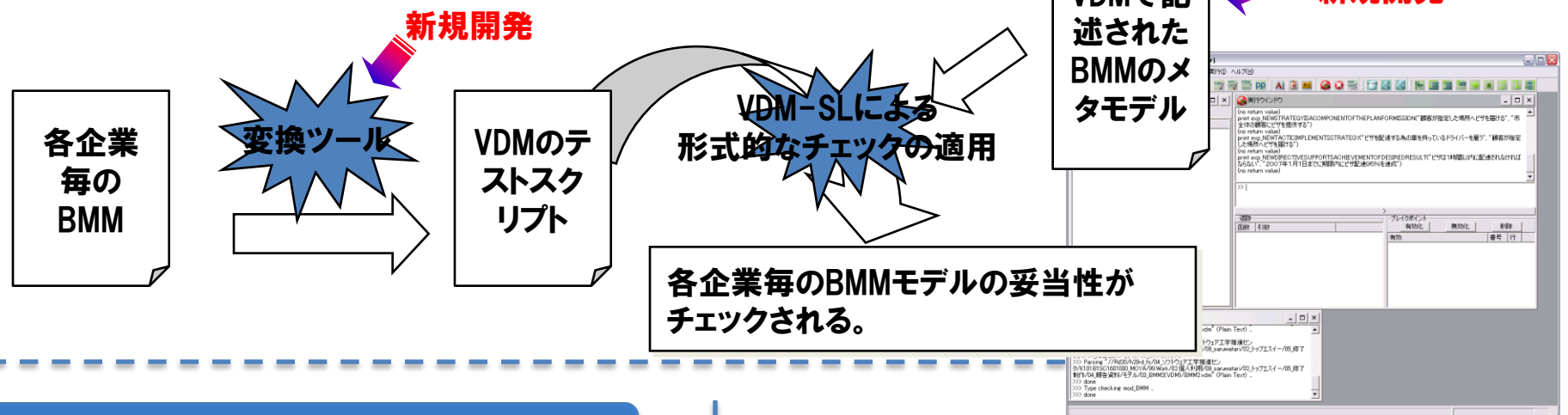
ビジネスニーズとITシステムの不整合から生じる“使われないシステム”の問題は、上流工程にその問題がある場合が多い。近年、上流工程に対する重要性の認識は増している。

手法・ツールの提案による解決

上流工程の品質／精度を高める為に、形式手法、要求工学手法を利用する事を考えた。本制作では、上流工程の中でもビジネスプランニングを行う超上流工程に的を絞り、超上流工程のモデルであるBMMと、これら手法との関連を調査し適用検討を行った。

BMMとVDM

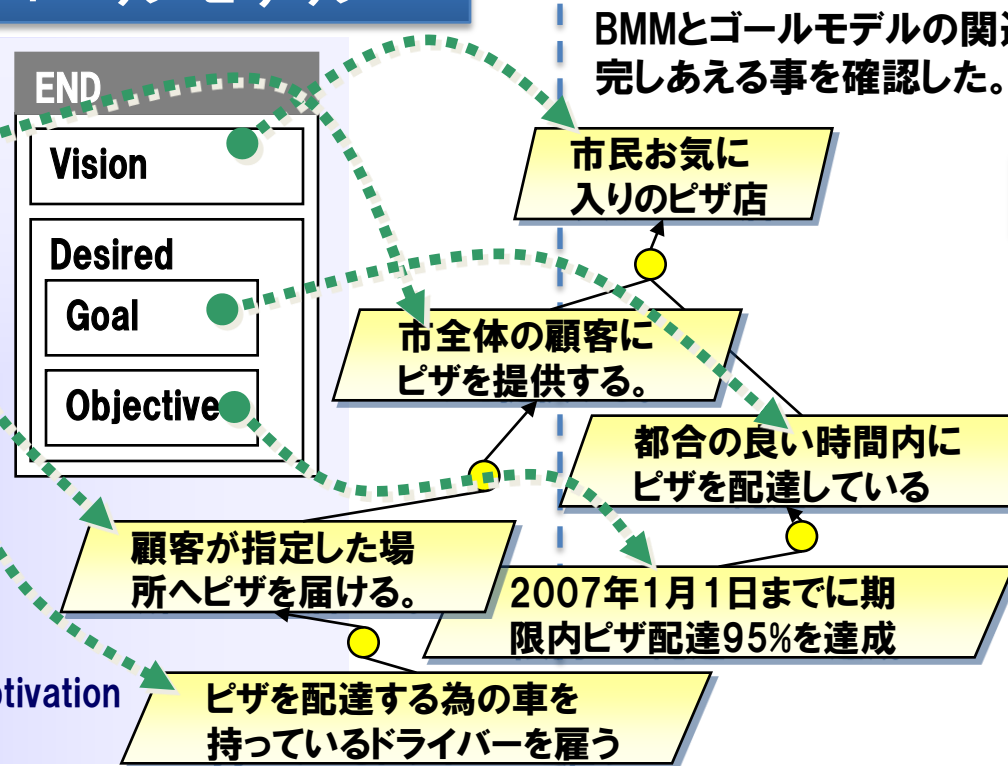
各企業のBMMの妥当性をVDMでチェックするための、仕組みを検討した。



BMMとゴールモデル

Means
Mission
Course of Action
Strategy
Tactic
Directive
Business Policy
Business Rule

END
Vision
Desired Goal
Objective



BMMとゴールモデルの関連を調査し、両者が補完しあえる事を確認した。

結論

【結論1】BMMで記述されたモデルの妥当性を形式仕様記述(VDM)で検証する事が出来る。

【結論2】ゴールモデルで記述された企業のゴールをBMMにより整理／補完する事が出来る。

BMM【出典: Business Motivation Model Version 1.0】